

川崎フロンターレアカデミーとの交流!!

川崎市と那覇市は1996年3月に友好都市協定を締結し、本年30年目を迎えています。こうした節目の年に、川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレのアカデミー部門とヴィクサーレが交流しました。ご承知の通り、川崎フロンターレアカデミーは、日本代表である板倉 滉選手、三笥 薫選手、田中 碧選手をはじめ数多くのトップ選手を輩出しており、選手育成については日本のトップクラスの実績を誇ります。また、2023年3月に完成したアカデミーの練習拠点『Ankerフロンタウン生田』は、フロンターレの育成理念を体現するための国内最高レベルの育成環境を備えています。今回、アカデミー部門から藤原 隆詞地域担当コーチをお招きし、トレーニングへのアドバイスや『川崎フロンターレアカデミーの取り組み』について講演いただきました。

▼トレーニング (2025年4月1日～2日、新都心公園グラウンド)



ヴィクサーレのコーチングスタッフや選手に対し熱心にアドバイスする藤原コーチ



川崎フロンターレアカデミーの取り組みについて講演する藤原氏=4月1日、沖縄県体協スポーツ会館



講演会には100名を超える保護者・選手が参加し、国内トップアカデミーの取り組みを学んだ。

▼講演会 「川崎フロンターレアカデミーの取り組み」

講演では、川崎フロンターレアカデミーの体制や活動理念・育成方針、2023年にアカデミーの練習拠点として始動した「Ankerフロンタウン生田」を紹介いただきました。

また、日本代表で活躍する板倉 滉選手、三笥 薫選手、田中 碧選手の共通点として、謙虚であること、オフザピッチでの振る舞いが良いことなど、サッカーの技術だけではなく人間性が重要であるとお話いただきました。

講演会に参加した選手から、「生田に行ってみよう。」「もっと練習してうまくなりたい。」「ピッチ以外のことも大切だと思った。」などの声があり、多くの気づきや刺激がありました。

藤原コーチからヴィクサーレの選手へメッセージ!!

【咀嚼する】

コーチから受けたアドバイスや言われたことを、自分の中で咀嚼する。言われたことだけでなく自分はこう思う・こう考えるという力、物事を捉える力・噛み砕いていく力が成長のためには必要不可欠。

【言葉にする】

チームのために鼓舞するなどの声は絶対に必要。プラスいち個人の成長を考えると、言葉でアウトプットすること、自分の言葉で話すことで頭の中が整理される。言語化することで自分が変わり、その積み重ねが今までの自分にはない新たな自分と出会うことに繋がる。

選手として良くないのは、「言われたことすらできない選手」、次に「言われたことしかできない選手」。みんなには「言われたことも言われていないことも含めてそれ以上のことをできる選手」を目指してほしい。

ヴィクサーレの選手は、素直で明るく将来が楽しみな選手が多いです。また会えることを楽しみにしています。